

## 研究課題「成熟 T/NK 細胞リンパ腫(T/NK-cell lymphoma)の臨床病理学的な検討および予後に関する多施設共同後方視的研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに当院(名古屋大学医学部附属病院)ならびに下記の 5. 研究組織(既存試料・情報の提供のみを行う機関)にて成熟 T/NK 細胞リンパ腫と診断された方

### 2. 研究目的・方法

研究の意義, 目的

悪性リンパ腫は免疫をつかさどるリンパ球のがんで毎年約 17000 人が新たにかかり, また増加傾向にあります. 悪性リンパ腫はさらにいくつものがんに分類することができ, 本研究では成熟 T/NK 細胞リンパ腫といわれる悪性リンパ腫を対象にしています. 成熟 T/NK 細胞リンパ腫はアジアに多い悪性リンパ腫であり, 本邦では悪性リンパ腫の 25%を占めます. また本邦において細胞障害性分子といわれる細胞死を誘導する分子を発現する成熟 T/NK 細胞リンパ腫の一種がさらに悪性度の高い腫瘍であることが報告されています. 細胞障害性分子を発現する成熟 T/NK 細胞リンパ腫がどのようなメカニズムで発症し, 進展するかについても不明な点が多く治療法についても残念ながら効果の高いものは見つかっておりません. 本研究により細胞障害性分子を発現する成熟 T/NK 細胞リンパ腫の診断, 治療に役立つような知見をえることができると期待されます.

研究の方法

昭和 55 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに成熟 T/NK 細胞リンパ腫と診断された方の病理組織切片と臨床情報を多施設と共同で集め, 最新の分類である WHO 分類第 4 版に基づき改めて分類します. 集める切片, 情報は診療の一環としてすでに実施されたもののみです. 顕微鏡観察により得られる形態的な特徴について, さらに免疫組織化学的な手法により表面マーカー分子, 細胞障害性分子の発現を確認します. また EB ウイルスの発現についても *in situ* hybridization の手法を用いて確認します. さらに腫瘍由来の DNA, RNA を用いた FISH もしくは PCR, シークエンスによる腫瘍特異的な遺伝子転座, 増幅, 欠失や変異の解析, またクローナリティの解析も行います. これらの形態的な特徴や分子の発現の有無, 分子生物学的特徴と, 予後などの臨床病理学的な特徴との関連について統計学的に解析, 検討します. なお最終的には 200 症例前後の検討を予定していますが平成 27 年 7 月 28 日現在, 成熟 T/NK 細胞リンパ腫合計 126 例のデータが集積されています. 内訳は末梢性 T 細胞リンパ腫が 85 症例, 鼻型 NK/T 細胞リンパ腫が 41 例です.

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：発症年齢、性別、病歴、症状、検査データ、画像所見、病変の広がり、病理診断名、治療の効果、転帰、等

試料：診断時に使用された生検もしくは切除、手術病理組織検体の残りの切片

#### 4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

#### 5. 研究組織（既存試料・情報の提供のみを行う機関）

愛知医科大学医学部 病理診断学 准教授 高橋恵美子

一宮市立市民病院 病理診断科 医長 中島広聖

市立長浜病院 内科/血液化学療法 責任部長 亀崎洋

大分県立病院 血液内科 部長 佐分利能生

大垣市民病院 血液内科 医長 小杉浩史

金沢医科大学 血液免疫制御学 臨床准教授 正木康史

神戸市立医療センター西市民病院 臨床病理科 部長 勝山栄治

静岡県立総合病院 血液内科 医長 野吾和宏

神鋼病院 血液・腫瘍内科 部長 小高泰一

社会保険中京病院 血液科 副院長 津下圭太郎 臨床病理科 主任部長 村上榮

信州大学医学部附属病院 臨床検査部 講師 佐野健司

長野赤十字病院 血液内科 清水郁夫

りんくう総合医療センター市立泉佐野病院 病理部 今北正美

聖隷浜松病院 病理診断科 部長 大月寛郎

県西部浜松医療センター 血液科 科長 内藤健助

藤田保健衛生大学医学部 血液内科学 准教授 岡本昌隆

兵庫県立がんセンター 血液内科 部長 村山徹

京都府立医科大学附属病院 血液内科 教授 谷脇雅史

名古屋市立大学病院 血液・化学療法内科 部長・准教授 飯田真介

佐賀大学医学部附属病院 皮膚科 教授 成澤寛

浜松医科大学医学部附属病院 病理部 部長・准教授 馬場聡

江南厚生病院 血液腫瘍内科部長 森下剛久

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学分野 腫瘍病理/第二病理 講師 高田尚良

久留米大学医学部 病理学講座 助教 三好寛明

愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法部 木下朝博

愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部 田中努

長野県立須坂病院 遺伝子検査科 浅野直子

Department of Pathology, Kaohsiung Medical University Hospital, Taiwan 吳俊杰

横浜市立大学医学部 病態病理学教室 教授 大橋健一

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学

TEL:052-744-2896

**研究責任者：**

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学 中村栄男

**研究代表者：**

名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学 中村栄男